RICOH Collaboration Board

お客様導入事例

RICOH
imagine. change.

鉄道会社の本社にRICOH Collaboration Boardを導入。社員証をかざしてMicrosoft 365 のアカウントへログインし、IDやパスワードの入力不要、カメラやマイクの接続作業不要で、手軽にMicrosoft Teams会議を開催。

長野電鉄株式会社 様





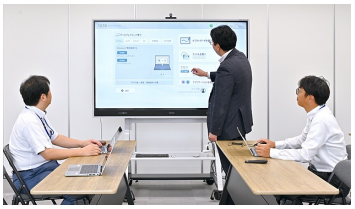
■ご導入機種：RICOH Collaboration Board W7500 安心3年モデル 2台
RICOH Collaboration Board Add-on Service for Microsoft 365

Company Profile
■URL：https://www.nagaden-net.co.jp/
■所在地：長野県長野市権堂町2201番地
■事業概要：1920年創業。以来、鉄道事業を中核に、地域の暮らしと観光を支える。鉄道事業を起点に事業領域を広げ、不動産業、旅行業、広告業、保険代理店業等を展開。
■従業員数：173名（2026年3月現在）

長野電鉄様は、1920年の創業以来、鉄道事業を中核に、地域の暮らしと観光を支える多様な事業を展開されています。これからの100年も地域とともに発展することを目指し、DXに一層注力される中、電子黒板の入れ替えをご検討。社員証でMicrosoft 365 にログインできるアドオンサービスや、ドングル不要でPC画面を投影できる機能が決め手となって、RICOH Collaboration Boardを採用いただきました。本社の会議室にRICOH Collaboration Boardを導入。社員証をかざしてMicrosoft 365 にログインし、パスワードやIDの入力不要、カメラやマイクの接続作業も不要で、すぐにMicrosoft Teams会議※を行うことが可能に。PCからの資料投影もワイヤレスで手軽にできるため、ペーパーレス化も促進されています。使い勝手の良さから利用する機会が広がり、日々の打ち合わせから従業員研修、経営会議、さらに株主総会でも活用。RICOH Collaboration Boardを活用し効果を実感いただいたことが、さらなるDXに向けた機運を高めていくことにもつながっています。

※以下、Microsoft Teams は Teams と記載する場合があります。





社員証をかざしてMicrosoft 365 アカウントにログインし、Teams会議をすぐに開始することが可能に。

1920年の創業以来100年以上にわたり、地域の暮らしを支えることはもちろん、観光路線として、地域振興に貢献していく役割も担っています。

1920年、地域の物流と旅客輸送を一新する鉄道会社として設立された長野電鉄様。以来100年以上にわたり、鉄道事業を中核に、地域の暮らしと観光を支えられています。



長野電鉄株式会社
経営管理部　次長
経理課長 兼 情報基盤課長
川島 篤史 様

川島様「長野電鉄は、長野駅から湯田中駅を結ぶ地域に根付いた鉄道です。生活路線として地域の皆様に日々ご利用いただいている一方、沿線には、善光寺や地獄谷野猿公苑など観光名所が多数あり、観光路線として、地域振興に貢献していく役割も担っています。移動手段としてだけでなく、車内で長野県産ワインが楽しめるイベント列車なども企画運営し、国内外の皆様にご利用いただいています。当社は、こうした鉄道事業を中核に事業領域を拡大してきました。現在は、不動産事業、旅行業、広告業等のほか、グループ会社も含めるとバス、タクシー、生活関連サービス、観光などの様々な事業を展開しています。」

長野電鉄様では、これからの100年も地域とともに歩み、発展していくための施策の一つとして、DX推進に取り組まれています。

川島様「DX推進の大きな契機となったのはコロナ禍です。他拠点や取引先との対面でのコミュニケーションが困難となったことから、Web会議環境の整備が急務となり電子黒板を導入しました。そして、導入から数年が経ち入れ替えを検討するにあたり、RICOH Collaboration Boardに興味を持ちました。」

導入前の課題

- 手軽にリモート会議を開催したい。
- 操作が複雑なデジタル機器は社内に浸透しにくい。
- DXを促進したい。

導入後の効果

- **社員証をかざしてMicrosoft 365 アカウントにログインし、すぐにTeams会議の開催が可能。**
- **日々の打ち合わせから従業員研修、株主総会まで、幅広く活用。**
- **RICOH Collaboration Boardの活用をきっかけに、デジタル機器への心理的ハードルが和らぎ、DXの機運が向上。**

社員証をかざすだけでMicrosoft 365 のアカウントにログインできる。この手軽さが、導入の決め手になりました。

「せっかく入れ替えるなら、より良いものを導入したかった」と振り返る川島様。RICOH Collaboration Boardのどのような点を評価いただいたのでしょうか。

「RICOH Collaboration Boardの使い勝手の良さに惹かれました。特に魅力を感じたのは、利用者認証機能です。RICOH Collaboration Board Add-on Service for Microsoft 365 （オプション）を利用すれば、社員証をかざすだけでMicrosoft 365 のアカウントにログインできるので、これなら多くの従業員に日常的に使ってもらえると思いました。それから、Miracast®機能により、ドングル不要、アプリケーションのダウンロード不要で、PC画面を投影できるのも良かったところです。」

日常的な打ち合わせから従業員研修、取締役会、さらに株主総会まで、幅広く活用しています。

長野電鉄様ではRICOH Collaboration Boardを２台導入し、本社の会議室に設置されています。



長野電鉄株式会社
経営管理部　情報基盤課
課長補佐
藤巻 功 様

藤巻様「社員証をRICOH Collaboration Boardにかざして、Microsoft 365 アカウントにログイン。資料を投影して打ち合わせをしたり、Teams会議を開催しています。社内・社外、リアル・リモートを問わず幅広く活用していて、例えば、鉄道事業の本部との社内会議、お取引先様との打ち合わせ、さらに、社外から講師を招いて行う従業員研修や取締役会でも活用しています。以前の電子黒板以上に活用が広がっているのは、使い勝手が良いからこそですね。社員証によるログインに加えて、Miracast®機能も重宝しています。特に、社外からお客様が来社された際、お持ちのPCとRICOH Collaboration Boardをワイヤレスで手軽につないでいただけるので助かっています。」



社内外の様々な打ち合わせで、RICOH Collaboration Boardを活用。

さらに、株主総会でも活用されているそうです。

藤巻様「以前は、説明資料の投影にプロジェクターを使っていましたが、RICOH Collaboration Boardに切り替えました。従来のプロジェクターのように部屋を暗くする必要がないので、株主の皆様により見やすい形で情報をお届けできるようになっていると思います。」



株主総会では、RICOH Collaboration Boardを2台並べて活用。

IDやパスワードの入力が不要、カメラやマイクの接続作業も不要で、すぐにTeams会議の開催が可能に。ペーパーレス化も促進されています。

導入により、どのような効果が生まれているでしょうか。



長野電鉄株式会社
経営管理部　情報基盤課
主任
中村 浩貴 様

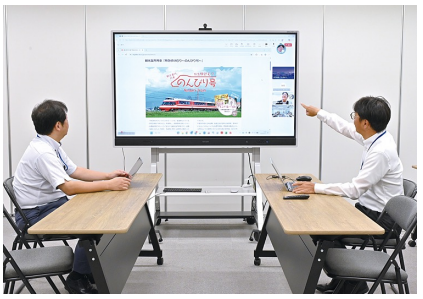
中村様「打ち合わせの前にあれこれ準備する必要がなくなったことが、一番の効果です。RICOH Collaboration Boardに社員証をタッチすれば、IDやパスワードを入力する必要もなくさっとMicrosoft 365 アカウントにログインできTeams会議をすぐに開始できます。カメラやマイク、プロジェクターを別途用意したり、PCをケーブルでつなぐ手間も不要なので、打ち合わせ前の準備にかかる時間や手間が削減されています。」

RICOH Collaboration Boardは、打ち合わせの活性化にもつながっているそうですね。

中村様「AIカメラ（オプション）が話者の顔を認識し、クローズアップしてくれるので、リモートの参加者も、誰が話しているのかひと目で分かります。物理的な距離を超えて、コミュニケーションがとりやすくなりました。また、指先を認知し、レーザーポインターのように資料を指し示すことができる機能も便利ですね。社外の方からも『面白いですね』と注目いただき、これをきっかけに場が和んだり会話が弾むこともあります。



リモートでも対面に近いコミュニケーションが可能。



AIカメラが指先を認知、レーザーポインターのように画面上の資料を指し示すことができる。

デジタル機器に対する心理的ハードルが軽減され、さらなるDXに向けた機運が高まっています。

RICOH Collaboration Boardの活用をきっかけに、従業員の皆様の意識も変わってきていると、川島様がお話を続けます。

川島様「サービス向上においても人材不足の対策においても、DX推進は不可欠です。ただ、単に最先端のシステムや高性能なデジタル機器を導入したからといって、DXが促進されるわけではありません。従業員にとっての使いやすさを検討し、いかに社内に浸透させるかが重要です。RICOH Collaboration Boardは、操作が分かりやすいので多くの従業員が積極的に活用しています。そして、実際に使ってみて効果を実感した経験が、デジタル機器に対する抵抗感や苦手意識を和らげることにつながっているようです。こんな使い方もできるのではないかという発想が、従業員の中から生まれてくるなど、DXに向けた機運が高まっているように感じます。」

3大選定ポイント

①社員証でMicrosoft 365 アカウントにログインできる。
②ドングル不要、アプリケーションのダウンロード不要で、PCと接続できる。
③操作が分かりやすい。

長野電鉄株式会社様の
ソリューション事例を、さらに詳しく、Webで。
https://www.ricoh.co.jp/case/2611-nagaden

RICOH
imagine. change.
リコージャパン株式会社

https://www.ricoh.co.jp

お問い合わせ・ご用命は

※ Microsoft、Microsoft 365、Microsoft Teams、および Windowsは、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※ Miracastは、Wi-Fi Allianceの商標です。
※ 本資料に掲載のその他の会社名および製品名、ロゴマークは各社の商号、商標または登録商標です。

記載内容は、2026年9月現在のものです。